

おさきじんじゃちゆうてつせいへんがく

尾崎神社鑄鉄製扁額

指定種別：市指定文化財

指 定 日：平成 25 年 12 月 24 日

所 在 地：釜石市浜町（尾崎神社境内）

制 作 年：慶応元(1865)年

寸 法：縦 69 cm 横 122 cm 厚さ 1.9 cm

銘 文：中央 尾崎社

左側 慶応元年八月橋野鉄鉦山



尾崎神社鑄鉄製扁額は、慶応元(1865)年 8 月に橋野鉄鉦山で制作され、尾崎神社に奉納された鑄鉄製扁額で、市内に残る古い扁額の 1 つであり、戦争中の金属供出を免れた貴重な文化財です。

扁額の大きさは、縦 69 cm、横 122 cm、厚さは 1.9 cm と薄く、中央に「尾崎社」左側に「慶応元年八月橋野鉄鉦山」と記されており、扁額の縁を「雷文」で装飾しています。

橋野鉄鉦山では、明治に入ってから鑄銭が行われますが、その前の慶応元年 8 月には鑄造が行われていたことを示すものであり、扁額の縁に施される雷門からは、盛岡の鉄瓶職人の関与が推察できることから、大変貴重な資料です。太平洋戦争中は防空壕に避難させていましたが、その後埋没し、再度発見された際には錆で覆われていたことから、釜石製鐵所で錆取りや保存処理が行われ、尾崎神社に納められました。

